



創造 協調 躍進
文武両道

本校の役割と学校経営の方針

本校は、昭和55年に、高校教育のあるべき姿を追求する進学モデル校・研究開発校として創立され、本年度で創立40周年を迎えます。創立以来「創造・協調・躍進」を校是とし、生徒の個性・能力に応じた教育の徹底を基本として「文武両道」を実践し、各界に有意な人材を輩出してまいりました。

本校の大きな特色として、国公立大学への進学を目指す生徒は7割を超え、また、震災復興の途にある福島県に貢献したいという生徒も数多く在籍しています。そのため、文武両道を追求する中から、難関・中堅国公立大学を目指し、その進路希望を実現することができる確かな学力を培い、社会が必要とする良好なコミュニケーション力、たくましく生きるための健康・体力の維持・増進を図り、変化の激しいこれからの社会に対応する「生きる力」を備えた人材を育成してまいります。

校長 吉田 強栄

重点① 学びの充実 **♪♪学ぶことは日々を新しくすること**

- シラバスに則り、「対話」型の魅力ある授業で深い学びを実現し、生涯にわたって主体的に学ぼうとする力を育てる。
- 新学習指導要領にもとづく教育課程の更なる充実を図る。
- 「大学進学ミッション支援事業」（県事業）を活用し、学校全体で計画的な進路指導に取り組む。
- 「進路情報センター」としての進路指導室からの情報提供を充実させる。

【指標】国公立大学合格者100名・大学等進学85%、家庭学習時間2時間以上90%（1・2学年）
偏差値55以上50名（数学科）、3力年の指導方針の練上げ・資格検定受験奨励（英語科）
課題の精選、実験・実習・ICT教材の充実（理科・芸術科・家庭科・情報科）
主体的な学び満足度90%

重点② 体育文化活動の充実 **♪♪はげしい心美しくせよ青春時代**

- 生涯にわたって芸術やスポーツ、ボランティア活動に取り組もうとする姿勢を育てる。
- 学習と部活動が両立できる環境を整備し、家庭学習時間を確保する。

【指標】部活動継続率90%（1・2学年）、授業・部活動中の事故防止
全国・東北での活躍（全部活動）、新体力テストA級前年比5%向上（保健体育科）
「文武両道」の満足度90%

重点③ キャリア教育の充実 **♪♪顔を上げてわれら開かれた道を行く**

- 社会や文化、環境等への興味関心を高め、総合的なコミュニケーション力と生活力を育てる。
・共感できる心性 ・論理的に話し記述する知性 ・感じ考えたことを表現する身体性
- 自己の生き方を考える多様な機会を用意し、夢に向かって努力し続ける校風を磨く。
- スクールカウンセラーとの連携等により教育相談を充実させ、自他の存在（命）を大切に
生徒を育てる。
- 場に応じた着こなし・挨拶の励行・情報モラルの指導を充実させる。
- 自転車通交ルールに関する指導を充実させる。
- 健康教育（歯・口腔の健康増進、性・食・環境・衛生等の指導）を充実させる。

【指標】課題発見・課題解決力の涵養（全学年）、交通事故ゼロ、年間皆勤者300名
表現・鑑賞の推進（芸術科）、いじめ防止対策の計画的な推進
清掃奉仕活動の充実（厚生部・生徒指導部）、日常的に新聞を読む生徒80%（3学年）
読書年間5冊以上350名（全学年）、図書貸出年間3000冊以上（国語科）、図書館年間入館者14,000人以上（教務）、長期休業中の読書レポート5冊以上（国語科）
模擬選挙体験による「主権者教育」への関心意欲を高める。
歯科治癒率100%（厚生部）、1学年の朝食摂取率100%（家庭科）

重点④ 情報発信・共有、施設の活用 **♪♪今日は明日の歴史 福島東高**

- 「東高見学会」やHPを充実させ、「東高の教育」をアピールする。
- 授業力向上のための授業公開、学校事故防止のための研修など、質の高い教育を実践するための情報共有を進める。
- 火災、自然災害等に対する危機管理体制を整備し、生徒と東高の歴史を未来に繋ぐ。

【指標】「東高見学会」参加者900名以上、年間HP閲覧数5万件以上（教務）、緊急連絡(mail)の確実な運用 「入学させてよかった」100%